

市町村別ロードマップ

➤ 年毎に視聴可能となる世帯を市町村別
に示したリストを作成する。

➤ 「地上デジタルテレビ放送のエリアのめやす」について、少なくとも都道府県毎の
図表を作成・公表する

18. 12. 01 第7次行動計画

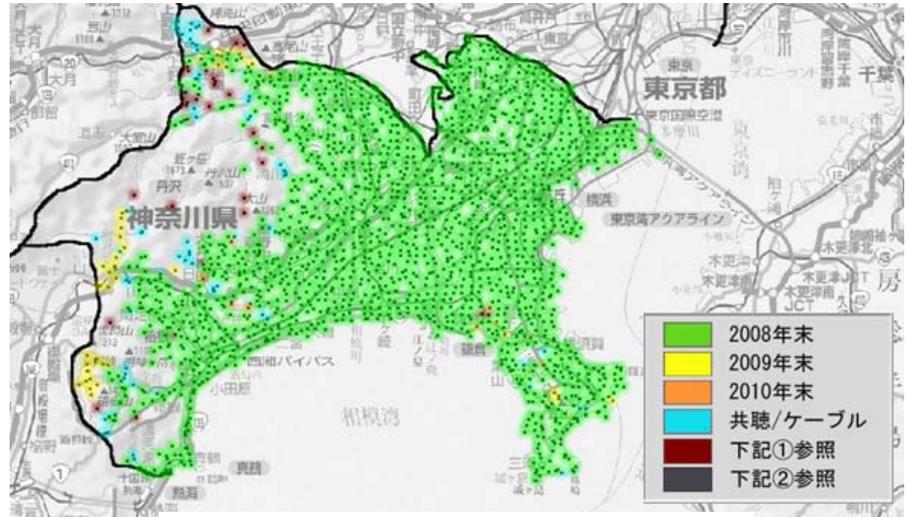
19. 11. 30 第8次行動計画

○ 地上デジタルテレビ放送の市町村別カバー世帯数のめやす

市町村 (注1)	自治体コード	全世帯		電波カバー世帯(注3)			放送事業者 共聴世帯		放送事業者 共聴世帯 (要補償)		放送事業者 ケーブル世帯		新たな視聴 世帯		デジタル化促進 共聴世帯		アナログ視聴 世帯	
		A	B	2008年末 カバー世帯	2009年末 カバー世帯	2010年末 カバー世帯	(注4)	(注5)	(注6)	(注7)	(注8)	(注9)	(注10)	(注11)	(注12)			
				C	D	E	F	G	H	I	J	K						
愛知県名古屋千種区	23101	63,700	63,700	63,700	63,700	63,700												
愛知県名古屋東区	23102	32,300	32,300	32,300	32,300	32,300												
愛知県名古屋北区	23103	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000												
愛知県名古屋西区	23104	53,100	53,100	53,100	53,100	53,100												

都道府県毎、市町村毎、放送事業者
毎に作成

○ 地上デジタルテレビ放送のエリアのめやす



都道府県毎、放送事業者毎に作成

「地上デジタルテレビ放送の市町村別カバー世帯数のめやす」の内容及び留意点

～内容～

- 各都道府県を放送対象地域とする放送事業者ごとに、各市町村における、
 - ① 2008年末、2009年末、2010年末のデジタル電波カバー世帯数見込み
 - ② 従前のアナログ電波カバーの範囲外にある共同受信施設（辺地共聴施設）の加入世帯数見込み
 - ③ デジタル放送局の電波カバーによらず、共聴／ケーブル対策でデジタル受信を確保する必要がある見込まれる世帯数
 - ④ 現在のデジタル放送局の整備計画上、デジタル化に伴い発生が見込まれる難視聴世帯数及びデジタル化改修の難易度が高い辺地共聴施設の加入世帯数等の難視聴世帯数見込みをシミュレーションの上、取りまとめた。

～留意点～

- それぞれの世帯数については、平成12年国勢調査に基づく市町村別世帯をもとに計算機シミュレーションを行ったものである。そのため、例えば、全世帯でデジタル放送が視聴可能となっている市町村であっても、地形や高層建造物等の影響によって視聴できない場合がある。
- 各放送局毎に当該シミュレーションを実施しており、同一の都道府県・市町村であっても、放送事業者ごとにシミュレーション結果に差異が生じる場合がある。
- デジタル中継局の設置計画によっては、デジタル電波カバーが従前のアナログ放送での電波カバーを超える放送事業者もある（地域での後発局など）。

「地上デジタルテレビ放送の市町村別カバー世帯数のめやす」の各欄の数値について

市区町村 (注1)	自治体コード	全世帯 (注1) A	アナログ 受信世帯 (注2) B	電波カバー世帯(注3)			既設共聴 改修世帯		既設共聴 改修世帯 (要精査)		新設共聴/ ケーブル世帯 (注8) H	難視世帯				
				2008年末 カバー世帯	2009年末 カバー世帯	2010年末 カバー世帯 C	(注4) D	(注5) E	(注6) F	(注7) G		新たな難視 世帯 (注9) I	デジタル化困難 共聴世帯 (注11) J	アナログも難視 世帯 (注12) K		

- (注1) : 平成12年国勢調査地域メッシュ統計(総務省統計局)を使用。市町村別の実際の世帯数と異なる場合がある。市区町村名についても平成12年国勢調査時の名称を使用
- (注2) : 地上アナログ放送が受信可能な世帯数(受信C/N比32dB以上、または既設共聴に加入している世帯)
- (注3) : 2008年3月公表の中継局リストで「置局」「置局*」となっている中継局のいずれかが個別受信可能と推測される世帯数
- (注4) : 地上アナログ放送を辺地共聴に加入して受信していて、その共聴受信点でいずれかのデジタル局が受信可能な共聴に加入している世帯数
- (注5) : 共聴受信点でいずれかのデジタル局が受信可能な共聴に加入している世帯数のうち、電波カバー世帯にも含まれている世帯数の再掲
- (注6) : 地上アナログ放送を辺地共聴に加入して受信しているが、現時点ではその共聴受信点の情報がなく今後デジタル局の受信可否の精査が必要な共聴に加入している世帯数
- (注7) : 共聴受信点の情報がなく今後デジタル局の受信可否の精査が必要な共聴に加入している世帯数のうち、電波カバー世帯にも含まれている世帯数の再掲
- (注8) : 中継局リストで「新設共聴」「ケーブル」「共ノケ(複)」となっている地区の世帯数
- (注9) : 地上アナログ放送は受信可能であるが、地上デジタル放送は受信困難と推測される世帯数(地上デジタル放送が受信可能な電界強度を $48\text{ dB}\mu\text{V}/\text{m}$ とした場合)
- (注10) : 地上アナログ放送は受信可能であるが、地上デジタル放送は受信困難と推測される世帯数(地上デジタル放送が受信可能な電界強度を $51\text{ dB}\mu\text{V}/\text{m}$ とした場合。高性能アンテナの利用でこの数は減少する)
- (注11) : 地上アナログ放送を辺地共聴に加入して受信しているが、現行の受信点ではデジタル受信が困難であり、受信点の大幅な移設等大規模なデジタル改修を必要とする共聴に加入している世帯数
- (注12) : 地上アナログ放送が受信困難で、地上デジタル放送も受信困難と推測される世帯数